

記述回答のまとめ ◎＝30以上 ○＝10以上 △＝3～9 ・＝1～2

「スポーツ立県秋田あきた」について

問19(1) 【記述者156名】

宣言の前と後で変わったと思われることがありましたらお書きください。

◎変わったと感じたことについて【31名】

- ※スポーツ情報を聞くようになった
- ※スポーツに対して意識が変わってきた
- ※地域が活性化されてきている
- ※のぼりをよく見る

○プロスポーツについて【23名】

- ※県内プロチームもとても盛り上がっている
- ※県民に元気をくれている
- ※県内チームの試合は見たことないけど、ニュースで勝ったと聞くと嬉しい。
- ※応援の声が聞こえてくる
- ※プロ野球の始球式が楽しみ

○誘致・招致・イベントについて【20名】

- ※チャレンジデーの参加市町村がかなり多くなっている
- ※チャレンジデーなど市民参加型のイベントが増えた
- ※大会やイベント招致の回数が増加している
- ※大学生の合宿が秋田で行われていると聞いた
- ※高校スポーツの強豪校も秋田に来る機会が増えた
- ※始球式など有名人の起用は話題性にあふれとても良かった
- ※イベントに芸能人が来たりと活気づいた
- ※新しいゆるキャラを見た

○変わったと感じない【19名】

- ※期待できない
- ※関心もない
- ※変わっている気がしない

○施策がみえない【14名】

- ※のぼりは見るが施策が見えない
- ※ポスターばかり目立つ
- ※県民に施策を伝える努力がほしい
- ※県や市のみが空回りしないようにPRがほしい

△野球の強化について

- ※野球の強化ばかり目立つので平等にしてほしい
- ※いろんな講習があるようだが、報道で見る限り見せかけの対策と感じる

△スポーツ立県は知っているが住んでいる市町村では何も変わっていない

- ※地域でもプロの試合が見たい
- ※身近なところから変わって欲しい

△市町村について

- ※市もスポーツ振興に立ち上がった
- ※地域のスポーツ行事が増えた
- ※市もスポーツ宣言をしたので嬉しいし良くなっている

△比較や意見について

- ※成果を見るのはこれからだと思う
- ※国体の成績もあるが、生涯スポーツという見方もあるので変化は見えづらい
- ※競技力が上がったスポーツもあるが、変わらないスポーツもある
- ※県にも住んでいる地域にも期待してます
- ※他県から転勤してきましたが秋田県はとても活発だと思った

・ 総合型スポーツクラブについて

- ※総合型スポーツクラブの設立に積極性を感じた
- ※総合型スポーツクラブをより活かす為の県や市の施策の確認が必要

・ ボクシングの三浦選手やバレーボールの江畑選手の話題などで県民が湧いた

・ 冬季国体の受け入れの早さ、県として温かい対応をしたことがすばらしい

・ 高校に拠点校ができてから、拠点校以外は衰退、早くやめないと大変なことになる

問 19 (2) 【記述者 683名】

スポーツについて秋田県の施策で不足していると思われること、もっと取り組んでほしいことがありましたらお書きください

◎施設について【139名】

- ※さまざまな施設が県央に集中、県北・県南にも、プロを呼べる大施設がほしい
- ※天候に左右されないドーム型の体育館がほしい
(野球、サッカー、テニス、ランニングコース等)(県北・県南・県央)
- ※ナイター設備の普及
- ※ナイター設備を気軽に使用したい
- ※団体利用のみ優遇されている、個人が使用できる様な対策がほしい
- ※公民館などに一部屋、ジムの様な設備がほしい
(ランニングマシン・乗馬マシン・自転車系の室内スポーツ用品)
- ※サイクリングコースが意外にない
- ※利用時間を22時頃まで延ばしてほしい
- ※古い施設のメンテナンスと設備投資
- ※団体は利用できる施設や減免などあるが、個人を意識した公共施設の対策はない
- ※市営の弓道場がないのでつくってほしい
- ※プール等地域の運動施設の営業をやめないでほしい
- ※駐車場が何処も狭いので広くしてほしい
- ※ボルダリングの施設がほしい
- ※スポーツ立県宣言後に有料化され、しかも料金が高い
- ※市町村合併後、施設の使用料があがり利用しづらくなった

◎個人的な運動についての公民館・コミセン等への悩み要望【94名】

- ※団体が体育館を独占しているので利用できない
- ※空いていても個人では使わせてもらえないこと
- ※団体では使えても、個人が使える所が少なすぎ
- ※公民館、コミセンで平日夜の仕事が終わった後に子どもと遊びたい
体育館の一部だけでも個人に開放できないか
- ※公民館、コミセン等、幼児と遊びに行ったときに気軽に遊びたい
- ※幼稚園が終わる時間あたりに開放してもらえたら遊びに行きたい
- ※自由に使えるボールや道具などを置いてほしい
- ※廃校になった学校の体育館を利用したい
- ※自由に使える時間をPRしてほしい

※遅くまで空いている活動場所がほしい

◎PR不足 【93人】

- ※県が具体的に何に取り組んでいるかわからないのでPRしてほしい
- ※県のスポーツ番組TVがほしい ラジオやインターネットだとリスナーに限られる
- ※県立図書館や博物館などのTV宣伝のように、スポーツ立県についての活動もテレビで紹介する時間があればいいと思う
- ※スポーツ専用のサイトがあることが広まればサイトの効果も増すだろう
- ※どの世代にもPRするならテレビでの宣伝がよい
- ※「チャレンジデー」をTV等で呼びかけPRし市内一丸となって取り組む
- ※「チャレンジデー」で勝利する市町村を増やしスポーツ立県あきたを全国にPR
- ※スパッキーをゆるキャラの大会に出演させてもっとアピールをする
- ※イベントがあってもわからない

◎スポーツ指導者について【70名】

- ※指導者の育成（小・中・高）
- ※高校は競技指導に優れた指導者を採用してほしい
- ※指導者の世代交代
- ※有能な指導者の派遣をしてほしい
- ※地域でリードしてくれる人がほしい
- ※保護者に支えられている為、卒業すると不在になることもある（スポ少）
- ※地域のスポーツ推進委員を増やす
- ※スポーツ推進委員の役割、体協の役割が知りたい

◎イベント・招致について【61名】

- ※中央で行われているプロスポーツを観戦したい（プロ野球・Jリーグ等）
- ※スポーツイベント時には集客が見込めるゲストなどの工夫も必要
- ※世界や全国で活躍するプロを呼んでのイベントがほしい
- ※県内の駅伝大会の時の道路規制が強すぎる
- ※県外からのスポーツ合宿の誘致をもっと増やしてほしい
- ※ウィンタースポーツの招致なら秋田の特色を活かせる
- ※ゆるキャラの東北大会を秋田で開催し、スポーツ立県あきたを県民に広める
- ※いろいろなイベントが多いのではないかな？
- ※スパッキーをゆるキャラグランプリへ
- ※世界的なスポーツイベント「チャレンジデー」を普及させ県民全体で盛り上げる

◎若手の育成について【合計67名】

○全体に関わる内容について【21名】

- ※小中高と一貫した選手の育成
- ※学校の施設の充実
- ※全国大会に通用する指導者の育成
- ※プロを招いて講習会
- ※メンタル指導を全体にするべき
- ※サッカー部を県北・県南にもつくってほしい
- ※フォークダンスをもっと取り入れてほしい フォークダンスをする機会が少ない
- ※定期的に有名選手から指導を受けてほしい
- ※強豪校との練習をしてほしい

△アスリートの育成について【8名】

- ※東京オリンピックに秋田県選手が出場してほしい
- ※低学年から全国上位を目指す活動計画

○幼小中の育成について【12名】

- ※子ども達の体力増強

- ※スポ少があっても中学校に部活がないことがあるので対策がほしい
- ※地域にないので他校のスポ少に入ったが、小学校が違っていると公式戦に出られない
スポ少に移行したのであれば、教育委員会が指導、改善してほしい
- ※小中学校に対するサポートの強化
- ※スポーツ少年団に入団させるシステムの構築
- ※義務教育時にスキーの実習をしてほしい

○高校のスポーツについて【１１名】

- ※全般的な強化が必要
- ※小中はレベルが高いが、高校では全国で勝てていない
- ※公立学校に体育科が必要
- ※明るい話題を提供してほしい
- ※附属高校の誘致とスポーツの奨励
- ※県内の競い合いが少なく、結局はレベルが下がり全国で戦えていない

△野球部について【８人】

- ※甲子園で通用する実力を
- ※有名監督の招致と強化が必要

- ・２０代にスポーツ離れをさせない工夫を（夜間スポーツサークルのＰＲ）

○高齢者に向けての施策について【１９名】

- ※高齢化が取り組みやすい体操プログラムと取り組むための環境づくり
- ※高齢者に対してのスポーツ活動のＰＲ
- ※ＰＲをネットでもしても気がつかない
- ※地域格差を感じる
- ※会場までの交通対策が必要

○プロスポーツ関係について【１２人】

- ※県内のプロスポーツへの支援
- ※せっかく県内にプロスポーツがあるのだからテレビやラジオで中継をしたらいい
- ※秋田出身のプロ選手を地元と呼べないものか
- ※みんなから愛されるチームでなければ意味がないと感じる
- ※秋田出身の元プロを小中学校に派遣

○若者の県外流出対策と少子化対策【１２人】

- ※官民一体となって、アスリート選手の県内就職を斡旋してほしい
- ※国体での活躍、県体協の職員の充実と柔軟な対応がほしい
- ※企業にもっと協力をしてほしい
- ※スポーツの様々な対策より、県内の雇用対策と少子化ではないか
- ※進学時の受け皿をしっかりと、県外流出を減らすこと
- ※県内就職を活発にするため県内の景気回復（企業の誘致・支援）

○助成金、補助金等について【１２人】

- ※各スポーツ団体への助成金を増やしてほしい
- ※スポーツ少年団に対する助成金等援助してほしい
- ※小中学生の県外大会に対する助成金がほしい
- ※市町村の運動会、スポーツ大会の支援をしてほしい

△秋田には冬があるので、すべてにおいて冬季を意識した対策が必要【８人】

- ・各団体とも様々な意味でずれが生じている
- ・障害者スポーツについても取り上げて、認知度を広めてほしい

=====
問 2 0 【ア〜ク記述者合計 1 0 5 9 名】

あなたの住んでいる地域や秋田県のスポーツについて、普段感じていることがありましたらお書きください

=====
ア スポーツ少年団について 【記述者数 3 9 5 名】

◎指導について 【7 1 名】

- ※指導者が少ない
- ※専門的な指導者がほしい
- ※指導者の若手育成と世代交代
- ※体罰はいらない

◎少子化について 【5 7 名】

- ※チームの存続自体が危うい
- ※過熱化の影響で子どもが入りたくても、保護者が入れたがらない

◎過熱化について 【5 3 名】

- ※スポーツ少年団の規定を守らない（週の練習回数・終了時間 2 1 時過ぎ）
- ※勝利至上主義になっている
- ※心の教育、基礎の徹底

◎親の負担について 【3 4 名】

- ※試合が多すぎる
- ※お金がかかりすぎる
- ※保護者が参加していないと選手から外されそう

◎スポ少化について 【3 4 名】

- ※少子化のため、単独では大会に出場できなかったのを助かる
- ※隣の小学校のスポ少に入ったが、小学校が違う為、選手登録できないことが残念
- ※学校が一気に手放すのは危険
- ※教師の平等な指導、部員の募集に感謝しています

○活発な活動について 【2 5 名】

- ※すばらしいと感じている
- ※子どもの頑張りがうれしい

△保護者について

- ※親にもマナーの指導が必要

△心が育てる指導について

- ※心を育ててほしい
- ※挨拶などマナーの教育もしてほしい
- ※子どもの成長が見えるので嬉しい

△医科学的な指導について

- ※応急処置やケガ予防の指導がほしい
- ※コンディショニングを整えるための指導
- ※メンタル的な指導

△施設問題について

- ※予約した利用時間を施設側で守らせてほしい
- ※中央に比べて地方は施設が少ない
- ※どの曜日でも一部の団体利用がメインで、家族や個人で活動することができない
- ※スポ少等団体ばかりを優先的にしないでほしい

△生涯スポーツとして

- ※スポーツを好きにさせてほしい
- ※それぞれの競技の特有の楽しさを伝えてほしい

△地域の特性にあわせた種目で小中高と連携してほしい

△冬季の活動に制限がある

- ・行政から補助がほしい（全県大会・東北大会・全国大会）
- ・それぞれの種目の楽しさを教えてほしい
- ・全国に通じる指導をしてほしい
- ・学校が離れるのであれば、リトルリーグ的な交流の機会をつくってほしい
- ・教育委員会の協力がほしい
- ・テレビの放送も少年野球やサッカー、バスケの大会ばかり人気が集中してしまう

=====

イ 中学校の部活について 【記述者数 215名】

◎指導について 【44名】

- ※専門的な指導者、専門でなくても熱意のある指導者がほしい
- ※外部指導者を活用してほしいが相応しい外部指導者も地域にはいない
- ※専門的な指導者を地域毎に見つけ依頼したらどうか
- ※地域の中高の指導者で連携をとって強化したらどうか
- ※教師の配置では、野球部の指導者ばかり優遇されている
- ※教師の仕事が多忙すぎる

◎少子化について 【43名】

- ※団体が組めず、大会に出られない
- ※少子化により、部活数が減って競技に偏りが出てきている
- ※部活動削減のため、スポ少で頑張ってきた種目がない

◎過熱化について 【20名】

- ※勝利至上主義になっている
- ※平等に指導してほしい
- ※体罰はいらない 5名

○頑張っている 【22名】

- ※部活の指導ご苦労様です
- ※統合してチームが強くなった
- ※地域と連携をして活発に活動している

△保護者の負担について

- ※送迎が大変、移動中の事故が怖い
- ※統合により学校が遠くなったので送り迎えが大変

△施設について

- ※冬期間は予約が一杯で練習場所を探すのが大変
- ※テニスは学校外での練習が多くコートを探すのは夏でも大変
- ※学校体育館の活用を工夫してほしい

※校外の活動は移動で親も大変だし、地域での個人使用ができなくなる

△保護者が指導に口をはさむべきではない

△地域との関わりについて

※地域のサポートがほしい

※学校が閉鎖的である

△小中高と連携してスポーツ選手の育成を目指してほしい

△医科学的な指導について

※熱中症等の予防と対処の指導がほしい

※コンディショニングの指導

※メンタルの指導

・プロの指導があればいい

・プロがあるサッカー部が学校にあってほしい

・学校外のクラブに参加している生徒も入部を認め、大会に出してほしい

・育てた選手が県外に流出している

=====

ウ 高校の部活について 【記述者数 152名】

◎競技力向上について 【56名】

※小中と全国で活躍しているのに高校になると勝てない種目がある

※全国大会で勝ち上がる種目が増えてほしい

※野球ばかり支援が目立つ 全体的にサポートしてほしい

※特定の学校を指定しての強化が、同じ種目をする生徒達の意欲を削っている

※拠点校ができたことで、それ以外が弱くなり、次に有望な選手が県外へ流出している

※県代表は例年代わり映えしてないが勝ててないので、県全体の強化が大事

※高校の大会は報道が多く、感動する機会も多い

※県が高校野球ばかり強くするのはおかしい

※私立学校を誘致し他県のように県外から選手を集めてはどうか

○指導者について 【22名】

※指導者の養成

※実績のある指導者を県外から受け入れてみたらどうか

△冬の練習場所について

※優先的に施設の予約や減免等の補助がほしい

※冬季の練習場所の確保

△県外流出について

※若い指導者の県外流出を感じる

※大学にもスポーツに力を入れてほしい

※地域に残ってスポーツをしたいと思える地元の高校であってほしい

△少子化について

※少子化でチームが組めなくなってきた

△保護者の負担について

※昔は合宿等は高校生自身で準備していた

※部費が高すぎる
※拠点校ではないので、同じように遠征すると保護者の負担が大きい

- ・保護者は口を出さない
- ・人事について、有能な指導者が同じ高校に居続けるのは不平等
- ・レギュラー以外にはサポートしかさせていない勝利至上主義では部活を続けない
- ・メンタルトレーニングをもっと取り入れてほしい
- ・コンディショニングの整え方も指導して、ケガの予防に努めてほしい

=====

エ 大学のスポーツについて 【記述数 9 名】

△大学のスポーツについて知る機会が少ない

- ・活発になるように支援するべき
- ・大学生の合宿の誘致に賛成です
- ・県内の大学はスポーツが強化されていない その為、優秀な選手が流出している
- ・競技に優れている生徒がスポーツで進学できる大学もあればよい

=====

オ 社会人のスポーツについて 【記述者数 9 8 名】

◎場所について 【3 4 名】

- ※スポーツをする場所がないので気軽に行ける場所がほしい
- 例 会社で「帰りにバスケでもしようか？」と誘っても、いつも予約で場所が無い
- 自宅に帰って、子どもに「運動で遊びたい」と言われても、予約で場所が無い
- ※地域のすばらしい施設（コミセン・公民館・体育館）は地域の社会人も使いたい
- ※社会人が運動をする環境が整っていない
- ※仕事が終わると 2 0 時頃になる、遅くても 2 1 時半から 2 2 時頃まで開いてほしい
- ※コミセンで加盟クラブでないという理由で、夜の個人利用を断られた
- ※コミセン・公民館に個人利用ができるスポーツジム用品を置いて開放してほしい
- ※幼児・子どもと一緒に遊ぼうと思っても空いていない 気軽に使える場所がほしい

○イベントの計画・PRをしてほしい 【1 6 名】

- ※日中は無理なので、夜に講習会等を企画しPRしてほしい
- ※どんなサークル、団体があるかさえわからない
- ※社会人が参加できるスポーツ交流を開いてほしい
- ※中高で行っていた部活を社会人でも続けたいがどうしたらいいかわからない
- ※社会人のスポーツ活動を取りまとめ広報活動してほしい

○多忙・運動をしなくなった 【1 5 人】

- ※暇がありません
- ※運動している方はすごいと思います
- ※いろいろしてみたいが仕事を優先にする必要がある、気軽に行ける所もない
- ※年齢が上がるにつれ参加する機会が少なくなった

- ・社会人がスポーツできる環境や対策がみられない

- ・ 思いつきの事業にならないで、社会人の意見を吸い上げてほしい
- ・ 就職が県内になく、有望選手が県外へ流出している
- ・ 高齢者の参加はすごいが、社会人の参加は少ないどうしたものか

=====

カ高齢者のスポーツについて 【記述者 104 名】

○スポーツイベント・講座について 【26 名】

- ※もっと高齢者が参加できる講座を増やしてほしい
- ※隔週ではなく、毎週あればよい
- ※いろんな人と交流ができてとっても楽しい
- ※体力にあった運動を紹介してほしい
- ※ニュースポーツを紹介してほしい
- ※医療費を抑えるために始めたのであれば、講座を毎年続けてほしい
- ※地方にもインストラクターをおいてほしい
- ※会場まで歩いて行けないので、乗り合いバスなどを回してほしい
- ※車が無いので、廃校になった校舎で開催してほしい

○施設について 【14 名】

- ※体育館が少ない
- ※地域にもっと施設がほしい
- ※施設に軽い体操を指導できる指導者がほしい
- ※地域の施設を気軽に使いたい
- ※いつも予約で一杯なので使えないし、様子を見ても高齢者が一緒にできる活動ではない

○高齢者は元気に活動しています 【13 名】

- ※頑張っている姿を良くみかけます
- ※時間を有効に使っていると思う
- ※自分に合ったスポーツを見つけて汗をかいている

△散歩コースをつくってほしい

△PRについて

- ※もっと伝わるような宣伝があればいい

△お金が関わる悩み

- ※会場までは、歩いて行けないしタクシー代はないので、無料の福祉バスがほしい
- ※参加費があると参加できない

△バレーボールについて（秋田県 8 人制バレーボール・ビニールバレーボール）

- ※定期的に活動してますがとても楽しいし、交流にもなるので機会を増やしてほしい
- ※毎回参加したいけれど、冬は自転車に通えないので残念です
- ※70代や80代も参加できてます みんな生き生きしています

△ゲートボールについて

- ※みんなキビキビしている
- ※冬にできないのが残念

- ・ ラジオ体操に人が集まっている
- ・ ニュースポーツを紹介してほしい

キ 障害者のスポーツについて 【記述者 13 名】

△交流イベントがあればいい

※知的障害者も参加できるイベント等

△もっと P R ・報道されてもいいと思う

△普及され盛んになればよい

・冬の活動が制限される

・障害者がスポーツする環境が整っていない

ク プロスポーツについて 【記述者 71 名】

○プロの試合を招致について 【13 名】

※プロ野球・Vリーグ・Jリーグなどいろんなプロスポーツを秋田県で観戦したい

※オリンピック等で活躍している選手を生で見てみたい

○居住地域での観戦について 【10 名】

※樹海ドームで見たい

※子どもに観戦させたいが遠い

※観戦の機会を増やしてほしい

※プロの試合を県央だけでなく、地方にも呼んでほしい

△プロスポーツの盛り上がりについて

※県民に元気を与えている

※もっと会員を増やしたい

※ポスターをよく見る

△子ども達に夢を与えていることについて

※子ども達に刺激と夢を与えている

※とてもいいのでもっと交流してほしい

△P Rについて

※もっと自前でP Rをしてほしい

※テレビで良く目にして興味がもてた

※試合の放映をテレビでもしてほしい

△ノーザンハピネッツについて

※バスケットに興味が無くても応援しに行きたくなった

※とても頑張っている

△ブラウブリッツ秋田について

※Jリーグ規格のスタジアムの整備を県も市も協力してほしい

※Jリーグに入ってほしい

※プロサッカーに力を入れてほしい

・観戦しにいったが、駐車場が少ない

・アルビレックス新潟のように、一つにならないのはなぜ